

装備の知識について

⑦ アウター・リヤ・ビュー・ミラー

⑦ エンジン・フード

⑦ ヘッド・ランプ



⑦ ドア・アウトサイド・ハンドル

⑦ サイド・ターン・シグナル & ハザード・ウォーニング・ランプ

⑦ フロント・ターン・シグナル & ハザード・ウォーニング・ランプ

⑦ クリアランス & パーキング・ランプ

⑦ トランク・リッド

⑦ テール & パーキング・ランプ

⑦ 反射器

⑦ ターン・シグナル & ハザード・ウォーニング・ランプ

⑦ テール & ストップ・ランプ

⑦ バック・アップ・ランプ

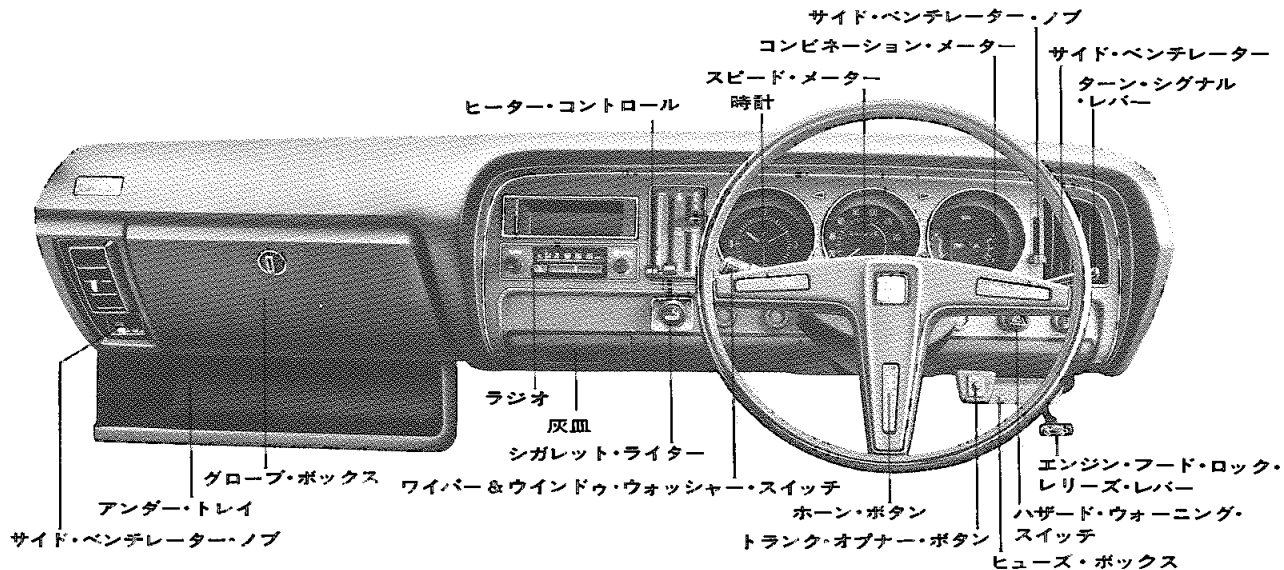
⑦ ライセンス・プレート・ランプ



コ罗纳・マークII GL車

⑦ = 装備の知識について

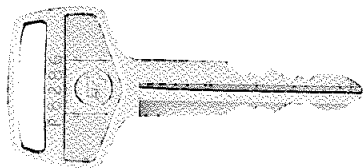
無断複製禁止



コナ・マークII GL車

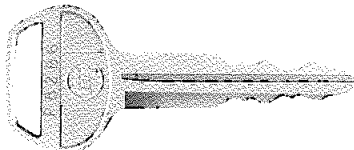
ご乗車の前に

■キーの確認をしましょう
マスター・キー



(すべてのキーシリンダーに使用)

サブ・キー



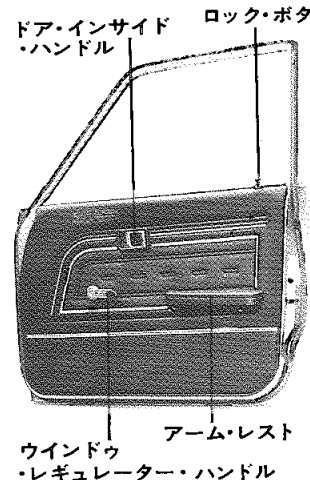
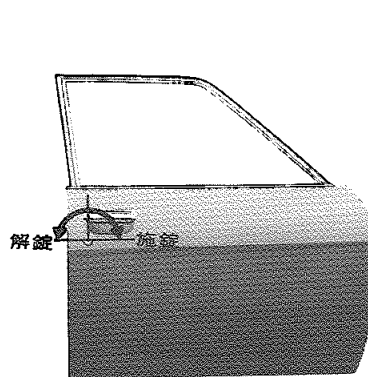
(トランクとグローブ・ボックス以外のキーシリンダーに使用)

サブ・キーはトランクとかグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときなどにお使いください。

★注意

キー・ナンバーをひかえておきましょう。万一、キーを紛失された場合でも取扱店にお知らせいただければ、スヘア・キーを作ることができます。

■ドアについて



ドアを開けるときは

外側から……ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

内側から……ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

●注意●

必ず後方確認をしましょう。いきなりあげると後続車がぶつかる恐れがあります。

ドアを閉じるときは

確実にしめましょう。

★注意★

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

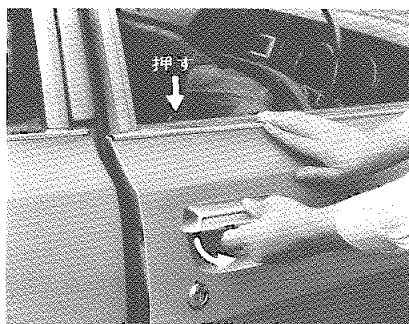
ドアをロックするときは

車内から……

ドア・ロック・ボタンを押えます。

車外から……

〈フロント・ドア〉

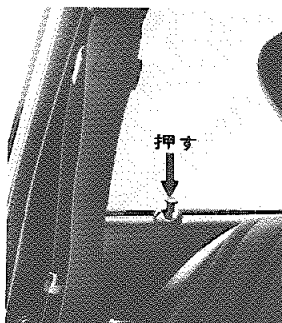


ロック・ボタンを押えドア・アウトサイド・ハンドルの内側をひき上げたままドアを閉めます。

●注意●

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

〈リヤ・ドア〉



ロック・ボタンを押え、そのままドアをしめます。

■エンジン・フードを開けるには



①計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



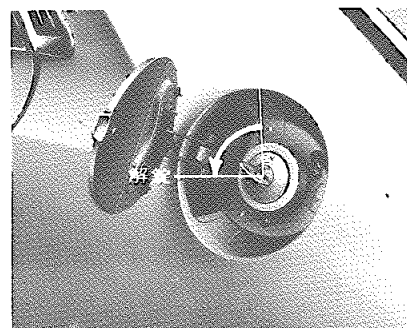
②エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱい開けます。

③閉じるときは、フードをさげて前端を押えつければロックします。

★注意★

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

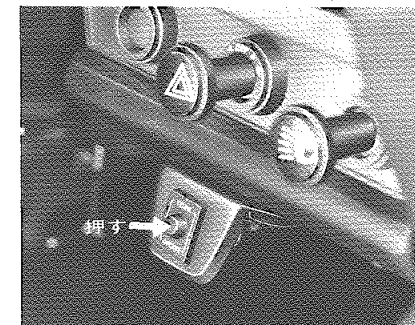


キーでロックをはずしキャップを左にまわします。

■使用ガソリン

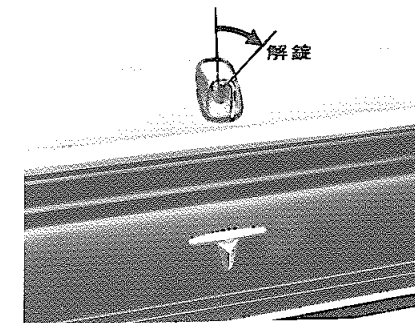
レギュラー（無鉛）・ガソリンを使用してください。

■トランクを開けるには
トランク・オープナー



エンジン・スイッチがACCまたはONのときボタンを押すとトランク・リッドが浮き上がります。

キーを使用する場合

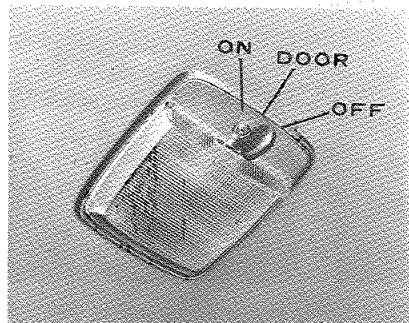


閉じるときは、上から手で押えつけるとロックされます。また、GL車以上はライト・コントロール・スイッチがONのときにトランクを開けるとランプが点灯し、トランク内が照明されます。

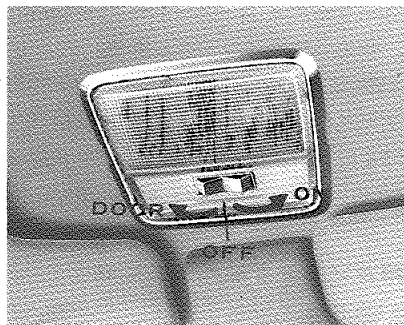
★注意★

トランク内にキーを置き忘れないようにしましょう。

■ルーム・ランプとドアの関係は



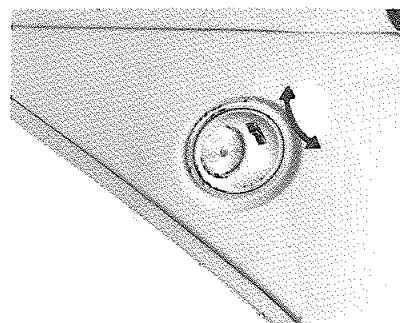
L, LX, LG車



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

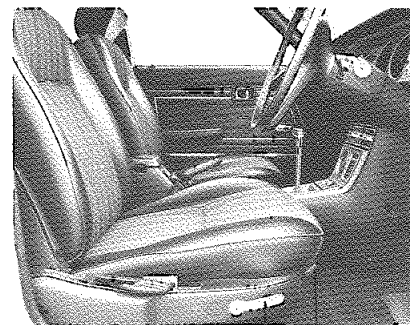
- ONドアの開閉に関係なく
点灯
- DOOR ...ドアを開いたときのみ
点灯
- OFFドアの開閉に関係なく
消灯

■リヤ・ルーム・ランプ L, LX, LG車



スイッチを押すと点灯します。

シートについて



リクライニング・アジャスト・レバー
シート・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整
しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押している間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

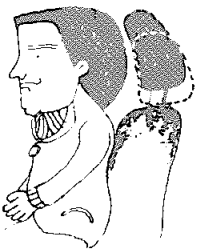
シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

シート調整

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

■ヘッド・レストを正しい位置に前に押しして高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。

ヘッド・レストの正しい位置



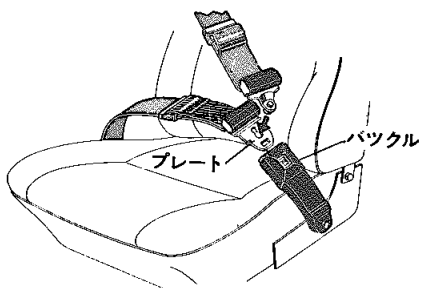
■セーフティ・ベルトを忘れずに運転するときは、必ずセーフティ・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。

また破れがないか点検をしましょう。なお、汚れを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

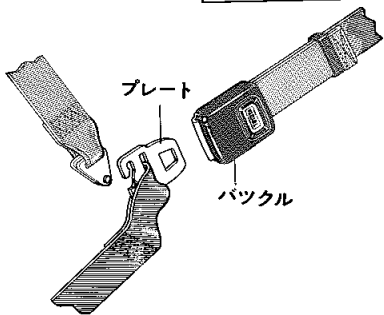
装着方法

1. シートを運転しやすい位置に調節し腰ベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認します。
2. 肩ベルトを、少し長目に調節して、ねじれていないことを確認してプレートにはめます。
3. 2.でセットしたプレートをバックルにはめ、腰ベルトを体に合うように調節してください。

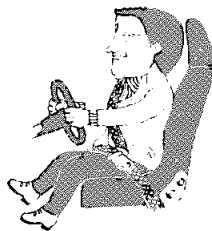
セパレート・シート用



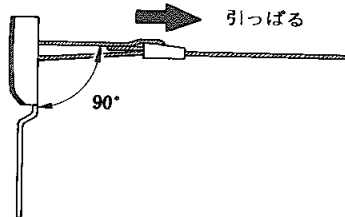
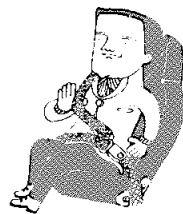
ベンチ・シート用



ベルト装着の正しい状態



ベルトの調整

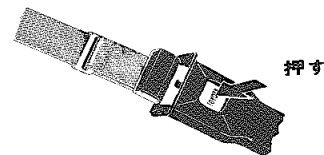


リトラクタからいっぱい引き出し、運転操作の妨げにならない長さに調整します。ベルトをひき出すときは、リトラクタから直角に引き出してください。胸とベルトとの間は、にぎりこぶしがはいる位の余裕があるように調整します。

注意事項

1. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。
2. お子様には使用することはやめてください。

取りはずし



腰ベルトは、バックルをドア側に向けて、すこし引き上げると、ゆっくりまきもどされます。

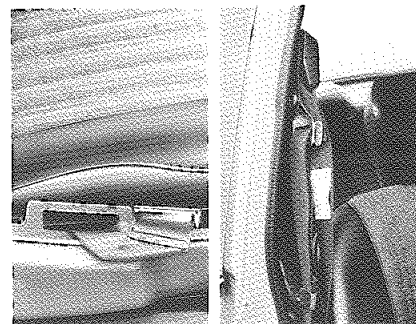
また、短時間車から離れ、再び運転をするときは肩ベルトはバックル・プレートに取り付けたままにしておいても差しつかえありません。

格納方法

空席のベルトは図のように格納しましょう。

<腰ベルト>

<肩ベルト>



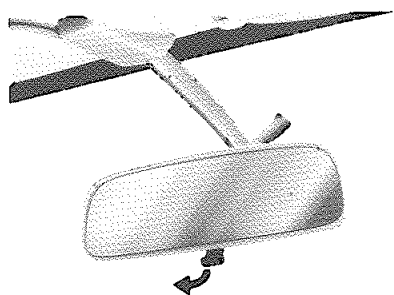
■ミラーの調整をしましょう。

インナー・リヤ・ビュー・ミラー

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整
しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー



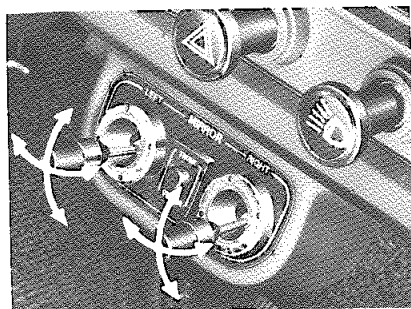
夜間走行の場合、後続車のライトがイン
ナー・ミラーに写り、まぶしいときに使
用します。

ミラーの下にあるレバーを手前にひくと
後続車のライトの反射が弱くなり、後続
車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを
押しもとの位置にします。

リモート・コントロール・ミラー

L G車標準
L A, L, L X車オプション

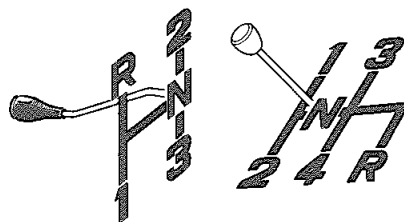


左右のノブの動きは、アウター・リヤ・
ビュー・ミラーと連動になっていますの
で、後方視野が十分確認できる位置に調
整しましょう。

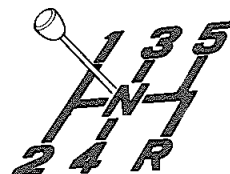
シフト・レバーの各 レンジ

■マニュアル・トランスミッション

3段コラム・シフト 4段フロア・シフト



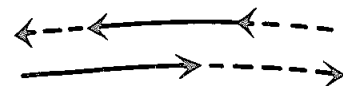
5段フロア・シフト



■オートマチック・トランスミッション

〈各レンジへの入れ方〉

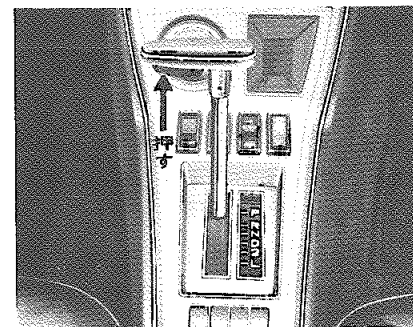
コラム・シフト



→ そのまま動かします。

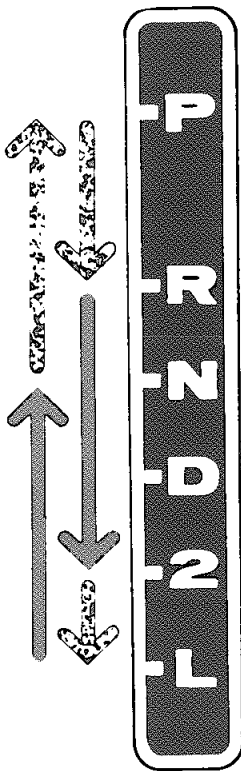
--> 手前に引いてシフトします。

フロア・シフト



➔ そのまま動かします。

⬇️ コントロール・レバー・ボタン
を押して動かします。



Ⓟ パーキング・レンジ……駐車するときとエンジンを始動する位置

Ⓡ リバース・レンジ……車をバックさせるときの位置

Ⓝ ニュートラル・レンジ……エンジンを始動させる位置

Ⓛ ドライブ・レンジ……通常走行する位置

② セカンド・レンジ……エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

Ⓛ ロー・レンジ……強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

〈運転のしかた〉

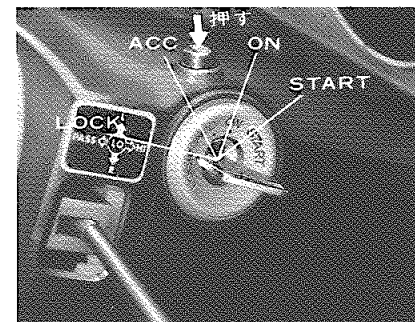
- 通常はⓅで発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤに、トップ・ギヤにと自動的にかわります。
- マニュアル・トランスミッション車と同様に、①から発進し、②から①へと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路をくだるときは、スピードに応じて①または②に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなどで急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーはⓅでも、ギヤはトップからセカンドまたはロー・ギヤに切り換って急加速ができます。
(キック・ダウン操作)

★ 必ず注意

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキを引きⓃまたはⓅにしてください。
2. ⓅとⓇへは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中ⓃまたはⓅ以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、Ⓝから①またはⓇへ切り換えることは危険です。必ずペダルを離してから①またはⓇへ切り換えてください。

スイッチ、メーター について

■ エンジン・スイッチ



- LOCK …………… キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。
- ACC …………… エンジンを止めたまま、ラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置。
- ON …………… エンジン運転中の位置。
- START …………… エンジンを始動する位置。
手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCにまわらないときは、ハンドルを軽く左右にまわしながらエンジン・キーをACCの方向にまわすとはずれます。

★注意

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリーあがりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。
バッテリーがあがります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリーあがりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。
5. 走行中はキーを絶対にLOCKの位置まで回さないでください。
ハンドルがきれなくなり危険です。

■チョーク

オートマチック・チョーク付車は寒冷時、エンジンを始動するときに、自動的にチョークがはたらいで、始動を容易にするようになっています。

オートマチック・チョーク付車以外は、チョーク・ボタンで操作します。

オートマチック・チョーク

- ①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外 気 温	踏 む 回 数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

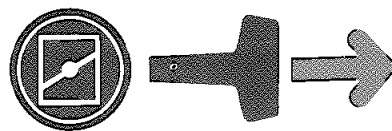
- ②アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
- ③しばらく暖機運転をします。
オートマチック・チョークが働いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。
- ④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏み込んでから離します。
チョークがもどりアイドリング回転になります。

★注意

E F I車の寒冷時始動は、いったんエンジン・スイッチをONの位置にし、約1秒後にアクセル・ペダルを踏まずにスターターを回しますと始動時間が短かく容易になります。

チョーク・ボタン

18R-B(R), M-B(R)車



エンジンが冷えているときには

1. チョーク・ボタンをいっぱい引きます。
2. アクセル・ペダルを踏み込まないでエンジンを始動します。
始動後エンジンの回転が不円滑な場合は円滑になるまで、ペダルを踏み込んでください。
3. 始動後エンジンの回転数が2000回転程度になるようチョーク・ボタンをもどして十分暖機運転をします。
4. エンジンが暖まるに従って、チョーク・ボタンを徐々にもとにもどします。

★注意

エンジンが暖まったらチョーク・ボタンは必ずもどしてください。
チョーク・ボタンを引いたままにしておくとエンジンが不調になったり、燃料消費が多くなります。

■スピード・メーター 〈速度計〉

指針は車の走っているスピードを示し、約100km/h以上になると、チャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがありますが、異常ではありません。

■オド・メーター 〈積算距離計〉

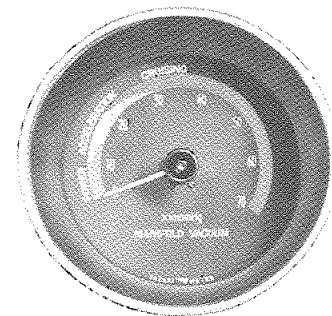
走行した総距離をkmの単位で表わします。白字に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター 〈総積算距離計〉

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■E Dモニター

16R, 18R 5M-F車オプション



E Dモニターの表示はエンジン負圧を表わします。経済走行の指針としてご利用ください。

POWER (橙色)

急加速時(エンジン負荷の大きいとき)の範囲。

この場合は燃料消費量の最も多いときです。

ACCELERATION (黄色)

発進時および定常走行中、一時的に加速するときの範囲。

この場合、燃料消費量はPOWER時より少ないときです。

CRUISING (緑色)

定常走行中の範囲。

この場合、燃料消費は経済的です。

定常走行では、指示が大きい状態で運転すれば、燃料消費を少なくできます。

シフト・ポジションが低いときは、指示が大きくなることがあります。必ずしも経済的ではありません。

走行可能な限り高いシフト・ポジションを使用してください。



1. ゾーン内周は低速走行時、ゾーンの外周は高速走行時の目安としてください。
2. エンジン・ブレーキ時には指示がアイドリング時より大きく示します。

■タコ・メーター <エンジン回転計>

6眼メーター付車

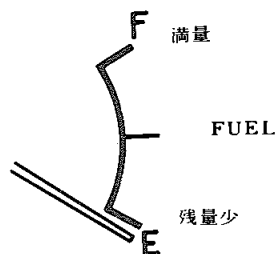
エンジン回転数を示します。

赤色の部分をレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

G S L車	6,500回転以上
L, L X, L G車	6,000回転以上

■フューエル・ゲージ <燃料計>

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

■フューエル・ウォーニング・ランプ

<燃料残量警告灯> 6眼メーター付車

エンジン・スイッチがONのときフューエル・タンク内の残量が10ℓ以下になると点灯し警告します。

■チャージ・ウォーニング・ランプ

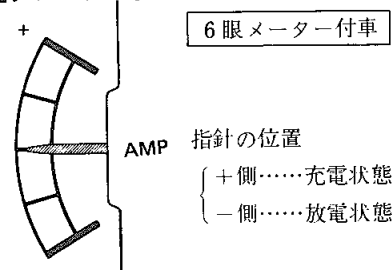
<充電警告灯>

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■アン・メーター <電流計>

6眼メーター付車

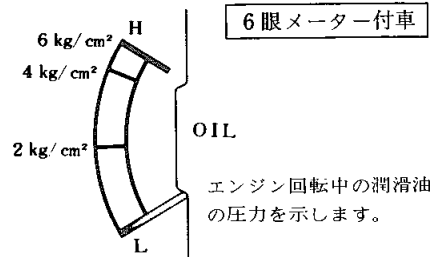


エンジン始動後、指針は⊕側に一時大きく振れますがその後除々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。

エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、充電系統の故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

■オイル・プレッシャー・ゲージ

6眼メーター付車



エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

エンジン回転数を上げて指針が動かないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。オイル量が正規であれば、他のところに故障があります。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ <油圧警告灯>

エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■ヒート・ゲージ <水温計>

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

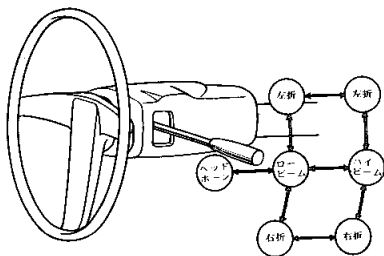
エンジン・スイッチがON以外では、指針はCより下の位置にあります。

指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみ等について点検してください。イエロー・ゾーンまでは走行してさしつかえありません。

■ターン・シグナル・インジケーター・ランプ <方向指示器指示灯>

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅(緑色)します。

■ ターン・シグナル・レバー

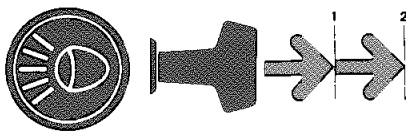


ターン・シグナル・スイッチとして……
 右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……
 レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ヘッドランプ切り換えスイッチとして……
 夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ ライト・コントロール・スイッチ



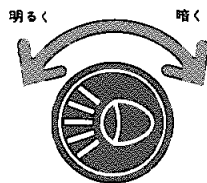
エンジン・スイッチに関係なくランプが付きまます。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘ ッ ド ラ ン プ	○	○
ク リ ア ラ ン ス ・ ラ ン プ , テ ー ル ・ ラ ン プ	○	○
ラ イ セ ン ス ・ プ レ ー ト ・ ラ ン プ	○	○
メ ー タ ー ・ パ イ ロ ッ ト ・ ラ ン プ	○	○

メーター・パイロット・ランプの明るさ調整

GL車以上



ライト・コントロール・スイッチを左右にまわすと、メーター・パイロット・ランプの明るさがかわります。

周囲の明るさに応じて調整してください。

■ ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケーター・ランプが点灯(青色)します。

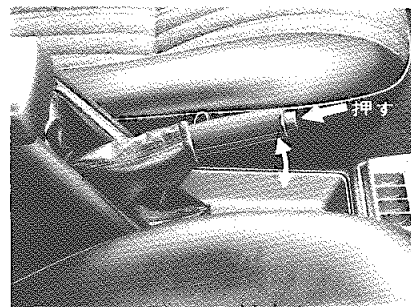
■ 残光式ヘッドランプ L, LX, LG車

ヘッドランプを消したあと、ドアをあけてから、ターン・シグナル・レバーをヘッドランプ・ホーン的位置にすると、ヘッドランプが約20秒間点灯して消えます。夜間の車庫入れ後の足もとの照明などにご使用ください。

残光式ヘッドランプの操作をした後、すぐ消灯したい場合は、ライトコントロール・スイッチを引き出して、またすぐ押しこめばヘッドランプは消灯します。

■ パーキング・ブレーキ・レバー

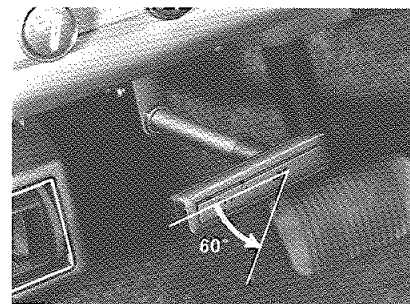
フロア・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使用します。

もどすときは、レバーをかるく引きあげながら、レバー先端のノブを押してもどします。

コラム・シフト車

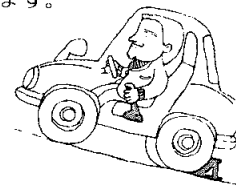


駐車時、いっぱい引いて使用します。

もどすときは下に約60°まわしてもどします。

坂路での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバース(オートマチック車はパーキング・レンジ)に入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。

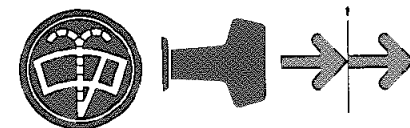


■ ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに作動します。

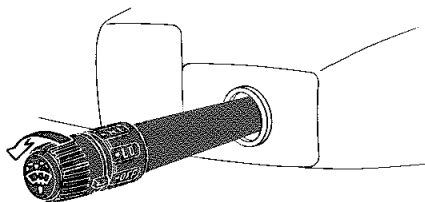
ワイパー・スイッチ STD, DX車

コラム・シフト車



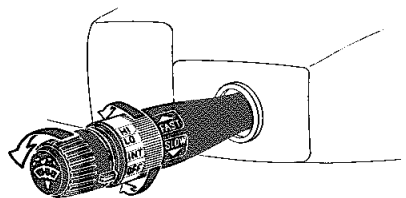
1段……低速 普通雨量のとき
 2段……高速 雨量の多いとき
 スイッチを切ると、ワイパーは動きはじめの位置までもどって止まります。

フロア・シフト車 DX車



LO……低速 普通雨量のとき
 HI……高速 雨量の多いとき

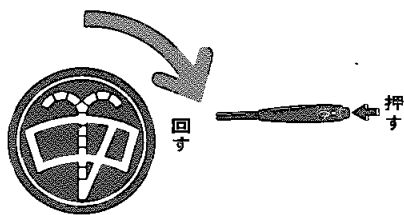
GL車以上



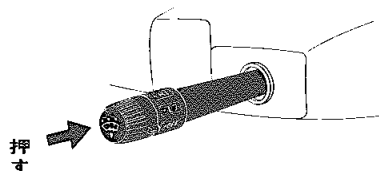
INT……4～12秒おきにワイパーが1回作動します。雨雪量の少ないときに使用してください。スピード調整つまみで、ワイパー停止時間を4(ファスト)～12秒(スロー)まで調整することができます。

LO……低速 普通雨量のとき
 HI……高速 雨量の多いとき
 スイッチを切ると、ワイパーは動き始める位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ コラム・シフト車



フロア・シフト車



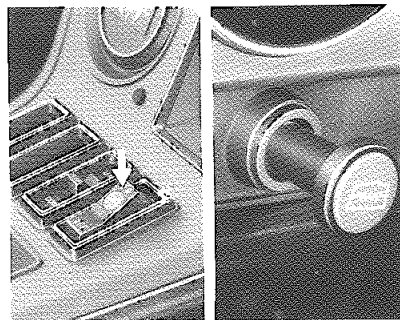
ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを図に従って作動させるとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。ウインドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

注意

1. 汚れたまま使用するとガラスに傷が付きまます。ウインドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
2. ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチをまわさないでください。まわすとポンプをいためる恐れがあります。

■リヤ・ウインドウ・デフォガ 除くSTD

フロア・シフト車 コラム・シフト車



リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

注意

デフォガは消費電力が大きいため、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリーあがりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雪をとかす能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■ブレーキ警告灯

- ①エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーを戻すと消えます。
- ②レバーを戻しても消灯しないとき、または走行中ブレーキ・ペダルを踏まなくても点灯したときは、ブレーキ・フ

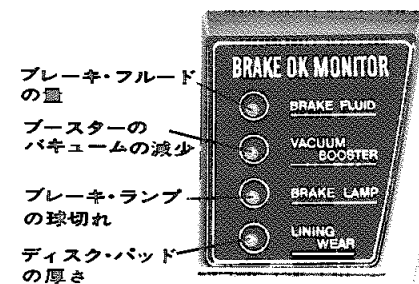
ールドが規定レベル以下になっている(GL, LA車のみ)かまたはESCが故障している(ESC付車)ことを警告します。

- ③エンジン・スイッチがONで、パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態(点灯)のときブレーキ・ペダルを踏むと、ブレーキ配管系統に異常がなければ警告灯は消灯します。
- ④③の状態で消えない場合、またはブレーキ・ペダルを踏んだ時に点灯した場合には、ブレーキ配管系統に異常がある(油圧が上らない)ことを警告します。

■ブレーキ・OKモニター

GSL, L, LX, LG車標準
GL車はオプション

ブレーキに関する4項目の異常を警告します。



1. エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると4個の発光素子が点灯します。発光素子の点灯はエンジン始動後、数秒間続きその後消灯します。

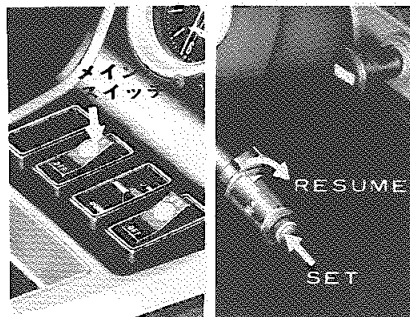
2. エンジン回転中に検知個所に異常があれば、該当個所の発光素子が点滅し同時に警告音が異常を知らせます。異常個所が発見されたら、ただちに車を止めて最寄りの取扱販売店へ連絡しましょう。

★注意★

OKモニターだけで作業点検を済ませず、お出かけ前の点検はエンジン・フードを開けて行ってください。

■オート・ドライブ

L, LG車オプション仕様



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のSETボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。SETボタンを離した時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1)ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2)クラッチ・ペダルを踏んだ時
(マニュアル・トランスミッション車)
- (3)シフト・レバーを⑩にした時
(オートマチック・トランスミッション車)
- (4)パーキング・ブレーキを引いた時
- (5)メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1)微増速の場合

SETボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2)減速の場合

SETボタンを押しつづけると、減速されますので、希望の車速になったら、SETボタンを離してください。

(3)増速の場合

そのままの状態でもアクセルを踏み、希望の車速になったら、SETボタンを押してください。

解除前の設定速度に戻したい時

<車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときのみ>

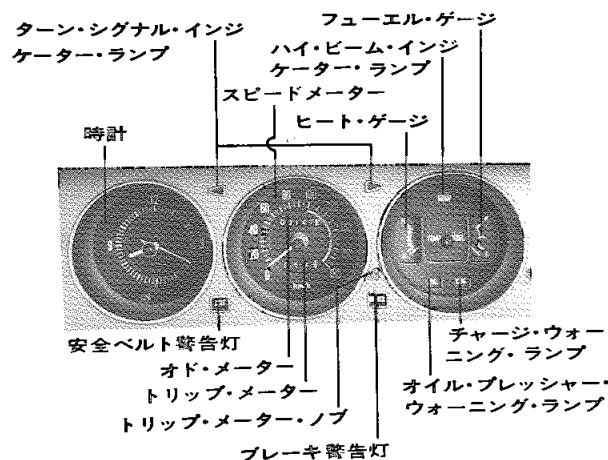
オート・ドライブ作用時、ブレーキまたはクラッチを作動させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどりたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回してください。

★注意★

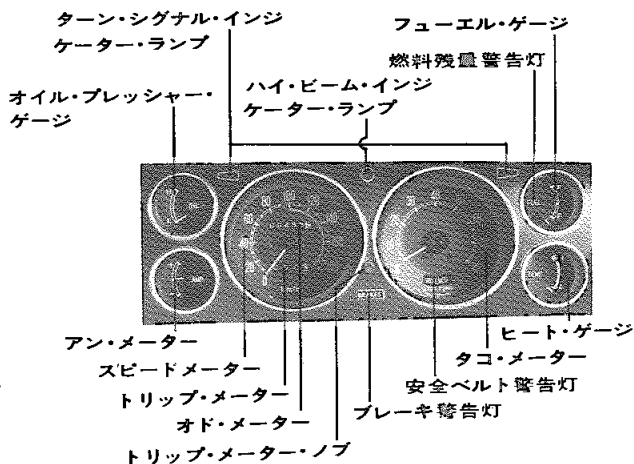
アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

■メーター

3眼メーター付車……DX, GL, LA



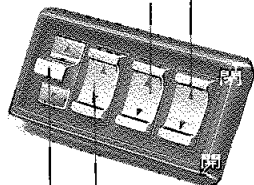
6眼メーター付車……GSL, L, LX, LG



■パワー・ウインドウ・スイッチ

GL車以上(除L A車)オプション

左リヤ・ドア・ウインドウ
右リヤ・ドア・ウインドウ



左フロント・ドア・ウインドウ
右フロント・ドア・ウインドウ
ドア・ウインドウ・ガラスは、すべてスイッチで開閉できます。

また、運転席からは、全ドアのウインドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

■エンジン

ウインドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

■ESC(電子制御式スキッド防止装置)

L車オプション

〈走行前のチェック〉

ブレーキ・ペダルを踏み、エンジン・スイッチをONにすると、エンジン・ルームから作動音“コトン”が聞えます。作動音が聞えたら走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。

〈走行中のチェック〉

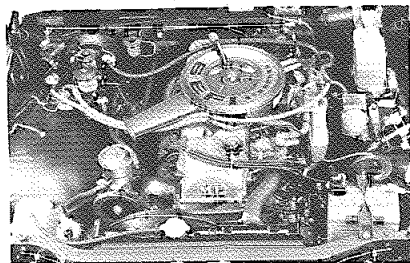
走行中、赤色のブレーキ警告灯が点灯した場合は、ESCに、故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

■エンジン

1. 万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通のブレーキ機構に戻ります。
2. 無線装置を取り付けるとESCが、誤作動することがあります。この場合は取扱店で、ご相談ください。

■EFI(電子制御式燃料噴射装置)

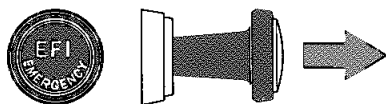
18R-E, M-E車



寒冷時始動について

エンジン・スイッチをいったんONの位置にし、約1秒後にアクセル・ペダルを踏まずにスタータを回しますと、始動時間が短かくて容易になります。

緊急時には



万一エンストや事故などで、エンジンが停止した時、エンジン・スイッチがONの状態でも、燃料ポンプの働きは約2秒後に止まります。

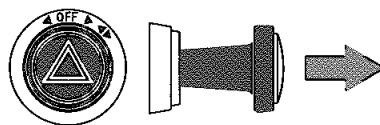
この場合スイッチを手前に引けば、燃料ポンプは前と同じように働きます。“押しがけ”の時に利用してください。

■エンジン

1. スタータ・モーターを回して始動するときは引く必要はありません。
2. 無線装置を取り付けるとエンジンに異常が生じることがあります。この場合は取扱店にご相談ください。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ

ハザード・ウォーニング・スイッチとして



故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

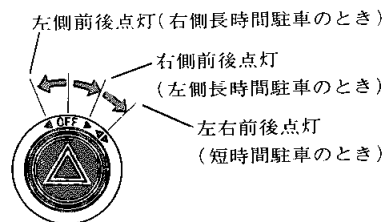
スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

■エンジン

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。



■時計

除くSTD

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま回して行ないます。

運転を楽しく、快適に

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチをONかACCにして、電源スイッチを押してONにして使用します。

アンテナ

DX車

電源が入ると同時にアンテナが1段とび出します。

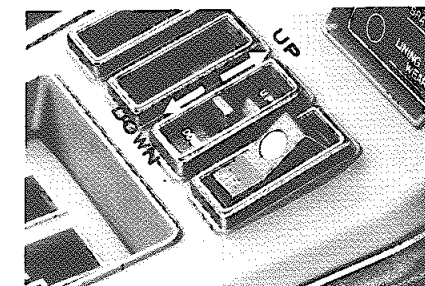
アンテナをさらにのぼしたいときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい押し込むとロックされるので次に使用するときには、再びラジオの電源スイッチをONにします。

アンテナはいっぱい伸ばしてお使いください。

モーター・アンテナ

GL車以上



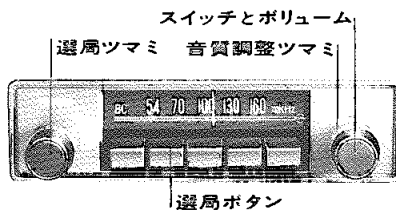
スイッチを前側に押すとアンテナは自動的に上がります。

後側に押すとアンテナは下がります。

無断複製禁止

AMプッシュ式

DX車標準



〈選局ボタンのセットのしかた〉

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミ(TUNING)で望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行ったなら選局しなおしてください。

〈選局ツマミ〉

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

〈音量調整〉

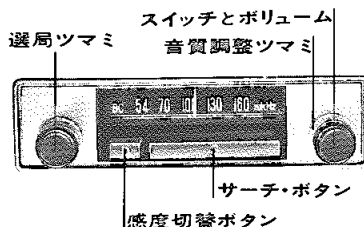
音量調整ツマミ(VOLUME)をまわしてお好みの音量に調整してください。

〈音質調整〉

音質調整ツマミ(TONE)をまわしてお好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

GL, GSL, LA車標準



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

〈選局のしかた〉

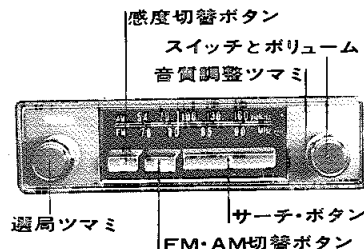
サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

〈感度の切替え〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切替ボタンを押し込んでください。もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FMサーチ・チューナー式

L, LX車標準
DX, GL, GSL, LA車オプション



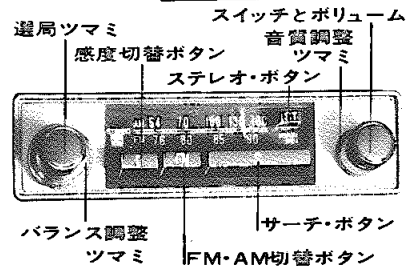
〈FMボタンのセットのしかた〉

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどりAM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

AM・FM・マルチ・ステレオ式

LG車標準
L, LX車オプション



選局のしかた、FMボタンのセットのしかた、感度の切替え、音量調整、音質調整、ともにAM・FMサーチ・チューナー式と同じです。

〈バランス調整〉

バランス調整ツマミをまわすと、音が左右に移動します。もともとステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

〈マルチ・ステレオのセットのしかた〉

FM放送受信中にステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。

ステレオ受信中にはステレオ・インジケータ・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンは戻りFMモノラル放送にかわります。

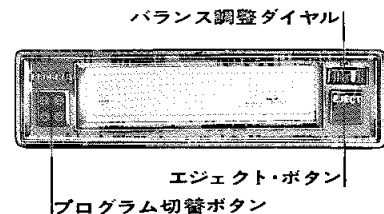
■ステレオ

全車オプション

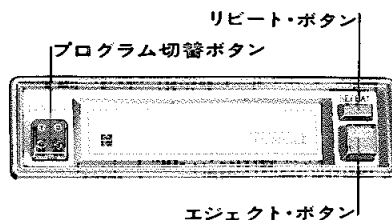
ステレオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

カートリッジ・ステレオ

全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差しこむと、自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

＜バランス調整＞

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっともステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはラジオのバランス調整つまみで調整してください。

＜音量調整＞

ラジオの音量調整つまみ(VOLUME)をまわして適当な音量に調整してください。

＜音質調整＞

ラジオの音質調整つまみ(TONE)をまわしてお好みの音質に調整してください。

＜プログラム切替＞

演奏中、プログラム切替ボタンを押すと他のプログラムに切替えることができます。

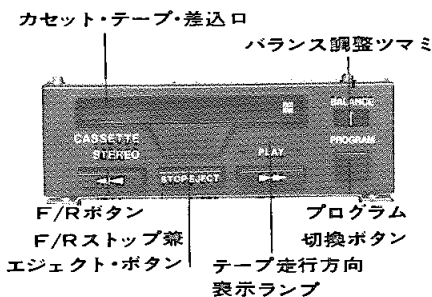
1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切替わります。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはリピート・ボタンを押すとプログラムをくりかえすことができます。

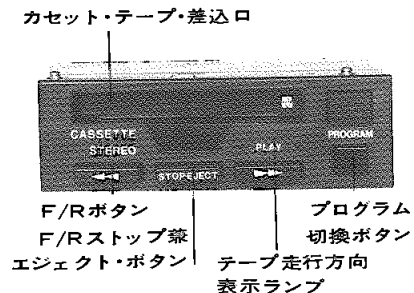
● 注意 ●

1. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。
2. テープを演奏状態のままイグニッション・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

カセット・ステレオ 全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション



＜演奏開始＞

カセット・テープを差込口にまっすぐ“ロック”されるまで差込んでください。自動的にテープ走行方向表示ランプ(PLAY)が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチのON, OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

＜音量、音質調整＞

ラジオの音量(VOLUME)、音質調整つまみ(TONE)で調整してください。

＜バランス調整＞

バランス調整つまみをまわすと、音が左右に移動します。

もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのつまみを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付車オプション仕様のものはラジオのバランス調整つまみで調整してください。

＜プログラム切替＞

プログラム切替ボタンを押すと、プレイ方向表示ランプが切り、テープ走行方向の切替ができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバース

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切替ります。

＜早送り(FF)、巻き戻し(REW)＞

F/Rボタンを押すとテープの早送り、または巻戻しができます。

プレイ走行方向表示ランプの点灯は、テープ走行の方向を表わしています。プレイ・ランプの点灯している方向と同じ矢印表示のF/Rボタンを押すと早送り、逆方向の矢印表示のF/Rボタンを押すとテープの巻戻しができます。

＜早送り(FF)、巻戻し(REW)の解除＞

エジェクト兼F/Rストップ・ボタンを軽く押すとテープの早送り、巻戻しを解除することができます。

＜演奏停止＞

演奏を停止させテープを取り出したいときは、エジェクト兼F/Rストップ・ボタン

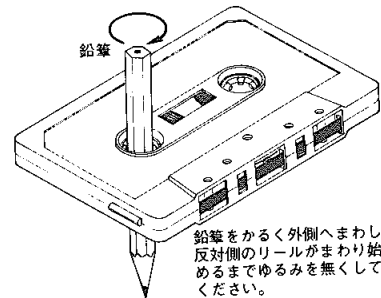
を強く押し込んでください。

カセット・テープが差込口に押し出され同時にテープ・プレーヤの電源もOFFになります。

● 注意 ●

1. C-120テープおよびクローム・テープは使用しないでください。テープのまきつきや、ヘッドの摩耗を早めます。
2. テープを演奏状態のままイグニッション・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。
3. カセット・テープを挿入する時は、テープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

たるんだテープの修正方法



■ヒーター

温度調整レバー

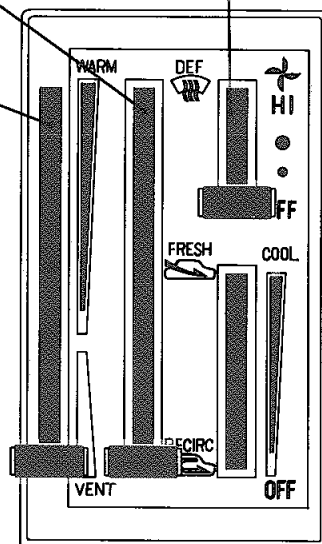
WARM 室内暖房
VENT 室内循環

内外切替レバー

DEF ガラス曇り止め
FRESH 外気導入
RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

HI 強風
● 中風
● 弱風
OFF 停止

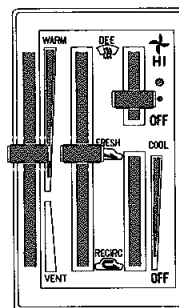


ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター（暖房用）として
 - ②デフロスタ（曇り止め）として
 - ③ベンチレーション（換気用）として
- スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

1. 外気による室内暖房

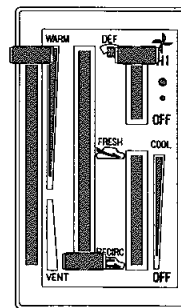
（通常のご使用の場合）



WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

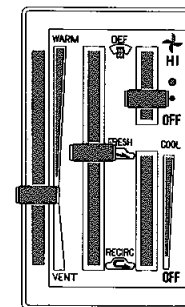
WARMに近づく程、ベンチレーション・ルーバーからの風が強くなります。

2. 内気による室内暖房



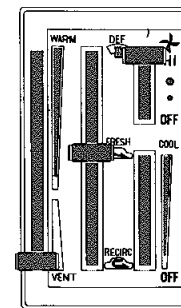
外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

3. 車内を暖めながら換気する操作



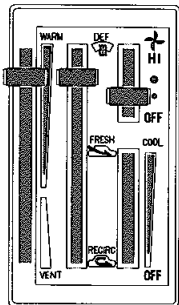
4. 強制ベンチレーション

（夏期ベンチレーション）



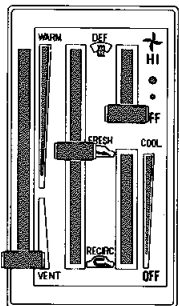
サイド・ベンチレーターも使用すると層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ (冬期の場合)

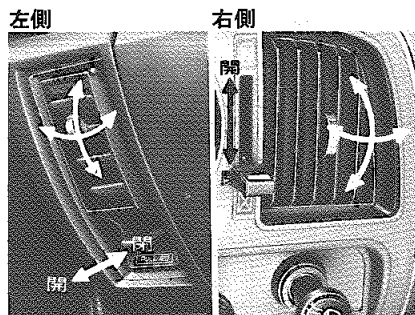


曇り止めのためにはサイド・ガラスを少し開けると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作 (走行中)

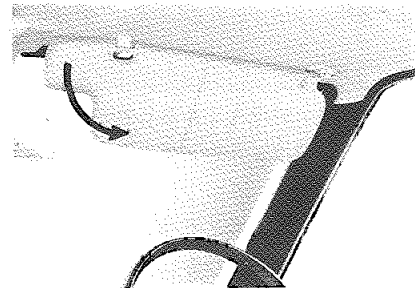


■サイド・ベンチレーター



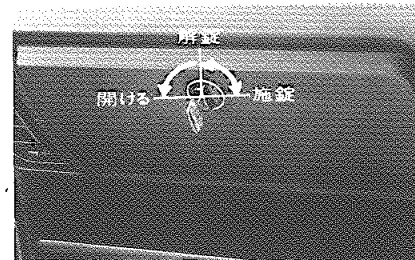
車内の空気を入れかえたいとき使用します。ベンチレーターから新鮮な空気がはいります。また、中央部のレーパーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■サン・バイザー



ホルダーからはずすと、横にまわすことができます。

■グローブ・ボックス



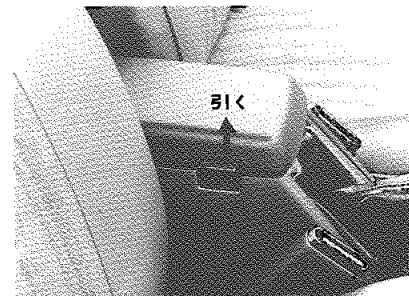
STD車

つまみを左にまわします。

DX以上

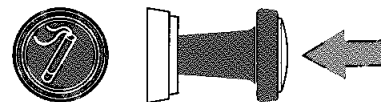
キーで解錠して、つまみを左にまわします。またライト・コントロール・スイッチがONのときにふたを開くとボックス内右横のマップ・ランプがつかます。なおグローブ・ボックスの施錠解錠はマスター・キーで行いません。

■コンソール・ボックス



運転席側のボタンを引き上げてフタを開けてください。

■シガレット・ライター 除くSTD

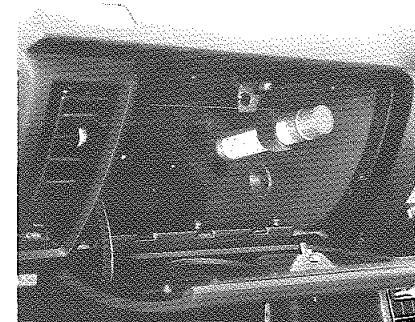


シガレット・ライターは押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★注意

押えつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■保安炎筒



踏み切り内で、故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用法は保安炎筒をよく読んで万に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年でラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は5分間です。

★注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。